



■豊科東小内に 学童クラブ設置を提案

豊科東小学校区の児童館整備を検討していた上川手児童館建設検討会（長崎賢会長）は8月21日、検討結果の報告書を市長に手渡しました。

報告書では、児童の放課後の居場所である児童クラブ事業は「学校施設内に整備することが望ましい」とし、それ以外の見

児童館事業は、これまでどおり高家児童館で行うことを想定しています。これは、地域に根ざした学校運営や将来の空き教室の利用を見据えた結果、結論に至ったものです。

また設置時期は「平成23年度の利用開始が望ましい」とし、規模については「40人から70人規

模の施設が必要」としています。市長は「報告書は現状を踏まえた内容。子どもの移動が少なければ当然事故も少ないはず。効率的な運営も可能」と述べ、提言の内容に賛同しました。

豊科東小学校の児童クラブ利用者には現在、車で高家児童館に移動しており、合併以前から、東小近隣に児童クラブの設置を望む声がありました。



報告書を市長に手渡す長崎会長（左）

■相手のことを 理解するために

男女共同参画講座（市・市男女共同参画連絡協議会主催）が8月25日、豊科ふれあいホールで開かれました。

この講座は、本年1月に施行した男女共同参画推進条例への理解を深め、推進のヒントを得るために開かれたものです。初回となるこの日は、協議会の委員やコミュニケーターら36

人が参加。はじめに、講師の古田睦美・長野大学准教授が、イメージで捉える共同参画について講義を行いました。その後、参加者は6グループに分かれ、課題について自らの体験や考えを交えながら話し合いました。穂高地域から参加した男性は、「相手のことを理解するためには、まず、相手のしている



意見交換しながら理解を深める参加者

ことをやってみることが大切だと思う。実践が理解への一歩につながるのでないか」と発言していました。古田准教授は、「男女共同参画は人によって考え方の違うテーマ。ワークショップのような意見のやりとりが、理解を深める有効な手段」と話していました。

講座は全3回開催する予定です。今後は、条例を読み込み、他の市の取り組みも学ぶ予定です。

■(株)安曇富士と市が「森林の里親契約」を締結



従業員一丸となって整備に汗を流す

(株)安曇富士（堀金烏川）と市はこのほど、林道烏川線沿いのまゆみ池周辺の約32haの市有林を対象にした「森林（もり）の里親契約」を締結しました。この契約は、(株)安曇富士がまゆみ池周辺の市有林で間伐や枝打ちなどの整備を行うとともに、市へ資金面での支援を行う取り組みです。

8月22日には、記念式典が現地で行われました。この日は、

高さ2mほどの木製のアダプトサイン（森林の里親契約の看板）が披露された後、参加者約100人が7班に分かれ、草刈りや枝打ちなどを行いました。作業に参加した板花博人代表取締役は、「地域の一員、企業の一員であることが実感できる良い機会。この地でお世話になって40年となるが、今後も地域に貢献する企業としてお役に立ちたい」と抱負を話しました。

契約期間は5年。(株)安曇富士では今後、年4回の作業を計画しており、資金面でも森林整備

まゆみ池西側に設置されたアダプトサイン

費として年60万円を市へ支援する予定です。



下水道の接続のお願い

下水道の宅内工事は、供用開始の公示がされた日から3年以内に行わなければならないことが、下水道法と市公共下水道条例により義務付けられています。まだお済みでないお宅は、早めに接続工事をお願いします。工事にあたっては、市の登録指定工事店へご連絡ください。また、供用開始の公示後3年以内に宅内工事を行う場合、金融機関から融資を受ける際に、利子の一部を市が負担する制度もありますのでご利用ください。



9月10日に開かれた「2009 アクアピ ア安曇野ふれあいデー」。日ごろなじみのない下水処理場が開放され、多くの人が見学に訪れました。

●定期的な清掃を

下水道をすでにお使いのご家庭にお願いします。最近異物の混入によるポンプなどの故障が多く発生しています。定期的なますを清掃し、油や残飯、髪の毛、危険物などは下水道に流さないよう注意し、きれいに使うことを心がけましょう。

下水道維持管理担当

(TEL72・3111 FAX72・2510)